

お知らせ

当協会・静岡支部（田島潤一支部長）は、11月5日午前9時より、富士山静岡空港で実施された「南海トラフ等の巨大地震に備え、緊急消防援助隊と連携した道路啓開訓練」（主催：静岡県中部地域道路啓開検討会事務局〈国土交通省静岡国道事務所、静岡県中部地域局〉※緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練と共催）に参加しました。

同訓練は、今年1月に「災害時における応急対応業務に必要な資機材及び石油類燃料の確保に関する協定」（通称：静岡スタイル）を締結した、当協会静岡支部並びに（一社）静岡建設業協会、（一社）清水建設業協会、（一社）静岡県解体工事業協会、静岡県石油商業組合の5団体が、業団体間の更なる連携を図るべく、初めて実施されたものです。

訓練当日は、①支障車両の移動（国道）や倒壊ガレキ（県道、市道）の撤去等、道路啓開を想定した実動訓練②「静岡スタイル（5団体協定）」の要請手順確認訓練が行われ、静岡支部は“支援要請を受けたホイールローダーを協会員手配のセルフローダーに乗せて現地まで運搬、荷下ろしし、（一社）静岡建設業協会に引き渡すまで”の実演を行いました。

なお、「静岡スタイル」は、静岡県中部地域国道を管轄する国土交通省静岡国道事務所からの呼びかけにより、“業界団体における、発災時の重機や燃料、オペレーターの横断連携によるスムーズな対応”を鑑みた協定として、注目を集めています。



運搬車両（セルフローダー）に当協会静岡支部のゼッケンを掲示し、訓練が行われました



実演訓練の様相



静岡支部からは、影山早史事務局長並びに㈱レント・菊田部長、㈱アクティオより3名が参加しました